

(2) 溶岩流ドリルマップの重ね合わせ図

ドリルマップは個々の噴火口から流出した場合の到達範囲を示したものであり、噴火前に火口位置が不明な場合には「可能性としてどこまで到達するか」を示す可能性マップを示す必要がある。

そのため、現象ごとにドリルマップを複数重ね合わせ、重複した地点（メッシュ）は最大値を取るなどの処理を加えた上で、全体としての到達範囲等を示したドリルマップの重ね合わせ図を作成した。

規模ごとに全火口のドリルマップを重ね合わせたマップを図 5.3-5～図 5.3-7 に、それをさらに全規模重ね合わせたマップを図 5.3-8 に示す。

なお異なる火口から流出して溶岩流の流下範囲が重なる範囲については、図 5.3-4 のとおり最短到達時間を表示するように設定した。

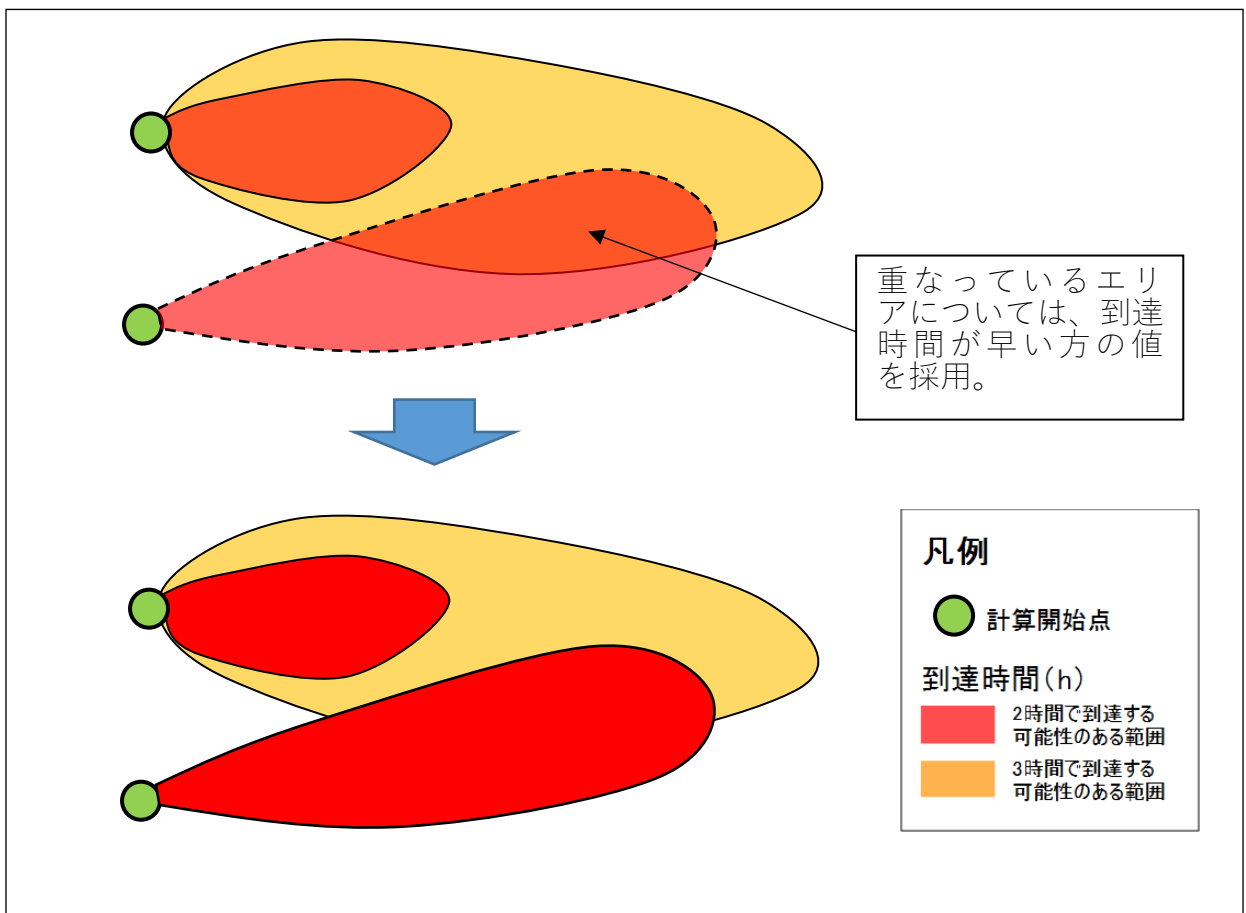
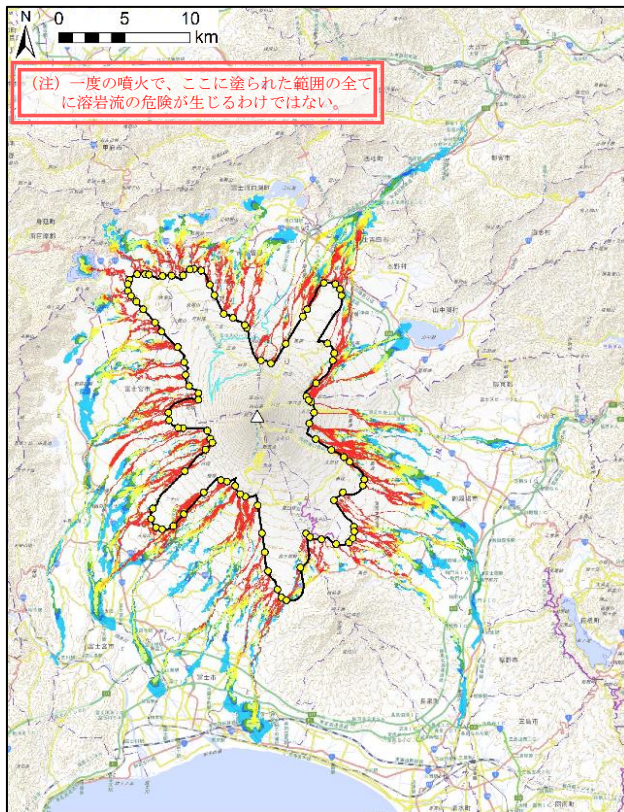


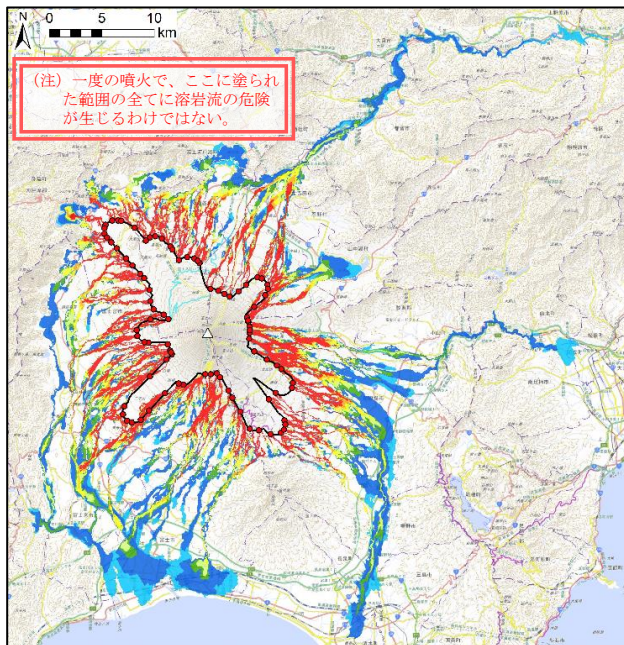
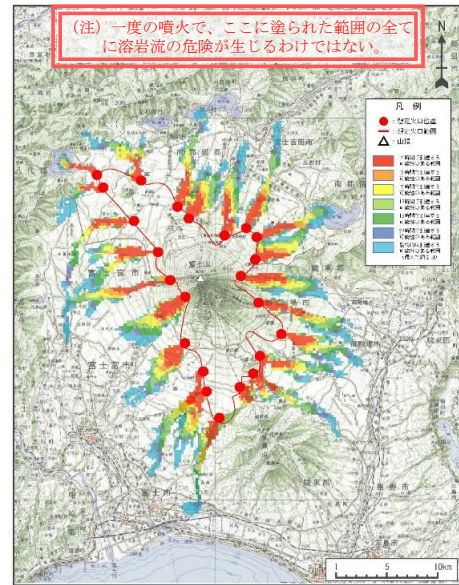
図 5.3-4 溶岩流の到達範囲が重なる場合の表示上の処理



- | | | | |
|-----------|------------------|--------------------------|--|
| 凡例 | | | |
| ▲ 山頂 | 到達時間 | 12時間で到達する可能性のある範囲 | |
| ● 想定火口位置 | 2時間で到達する可能性のある範囲 | 18時間で到達する可能性のある範囲 | |
| □ 想定火口範囲 | 3時間で到達する可能性のある範囲 | 24時間で到達する可能性のある範囲 | |
| | 6時間で到達する可能性のある範囲 | 最終的に到達する可能性のある範囲(最大で約6日) | |

図 5.3-5 小規模溶岩流ドリルマップの重ね合わせ図 (左図)

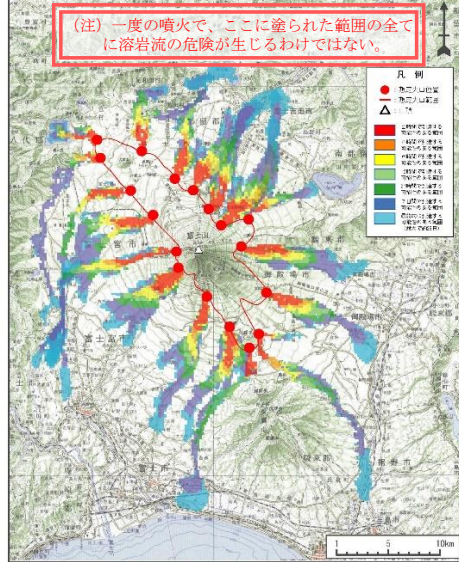
【参考】平成16年版報告書での小規模溶岩流ドリルマップ重ね合わせ図

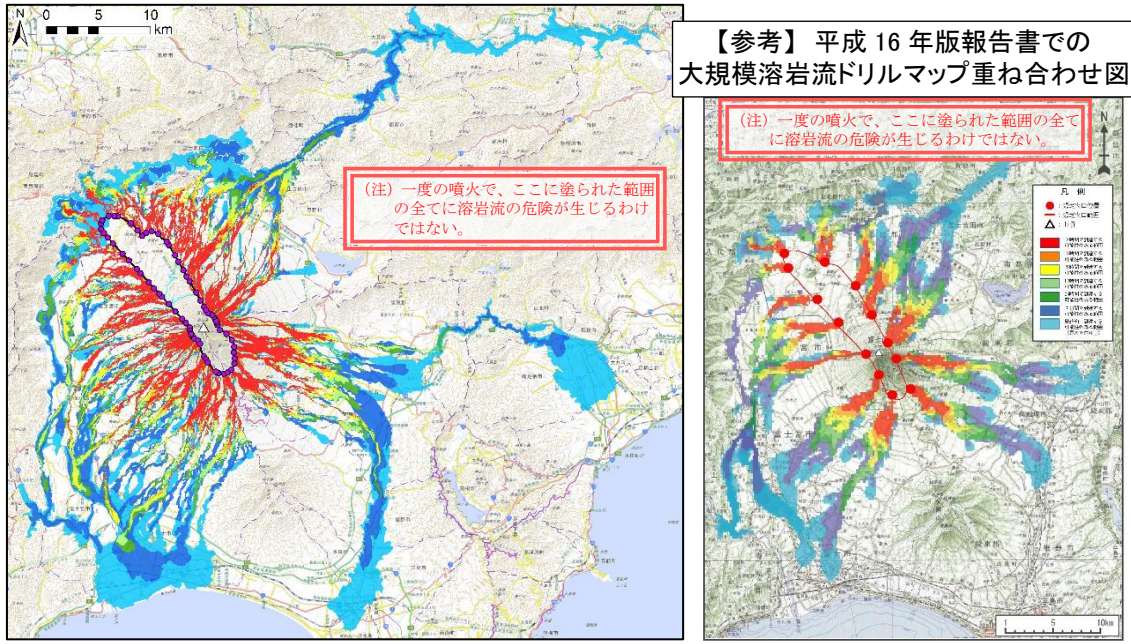


- | | | | |
|-----------|------------------|---------------------------|--|
| 凡例 | | | |
| ▲ 山頂 | 到達時間 | 12時間で到達する可能性のある範囲 | |
| ● 想定火口位置 | 2時間で到達する可能性のある範囲 | 24時間で到達する可能性のある範囲 | |
| □ 想定火口範囲 | 3時間で到達する可能性のある範囲 | 7日間で到達する可能性のある範囲 | |
| | 6時間で到達する可能性のある範囲 | 最終的に到達する可能性のある範囲(最大で約17日) | |

図 5.3-6 中規模溶岩流ドリルマップの重ね合わせ図 (左図)

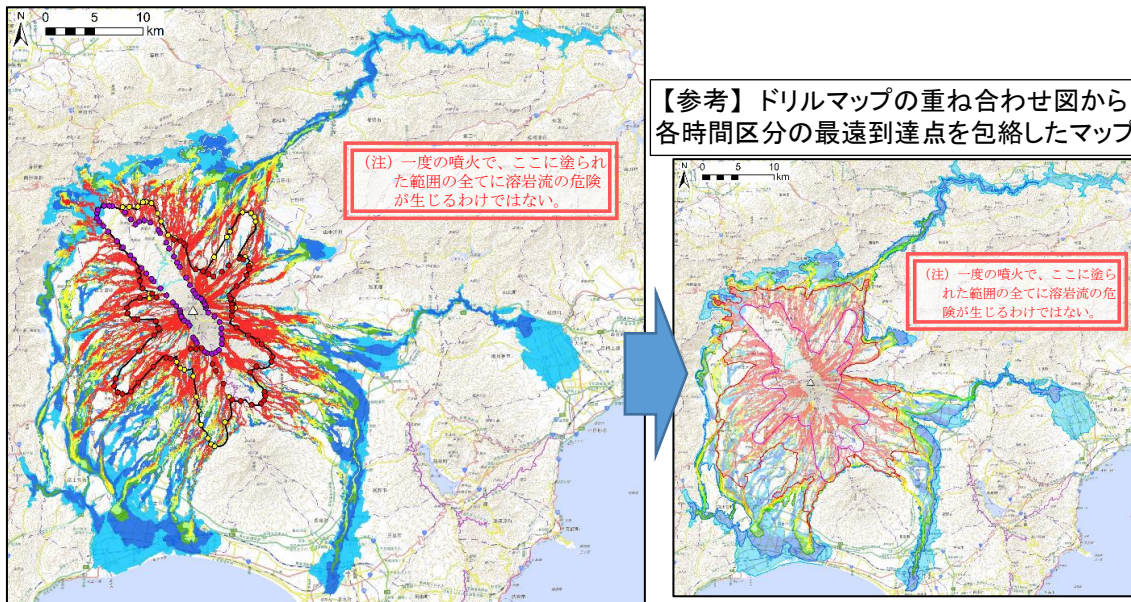
【参考】平成16年版報告書での中規模溶岩流ドリルマップ重ね合わせ図





- 凡例**
- ▲ 山頂
 - 想定火口位置
 - 想定火口範囲
- 到達時間**
- 2時間で到達する可能性のある範囲
 - 3時間で到達する可能性のある範囲
 - 6時間で到達する可能性のある範囲
 - 12時間で到達する可能性のある範囲
 - 24時間で到達する可能性のある範囲
 - 7日間で到達する可能性のある範囲
 - 最終的に到達する可能性のある範囲(最大で約57日)

図 5.3-7 大規模溶岩流ドリルマップの重ね合わせ図(左図)



- 凡例**
- ▲ 山頂
 - 想定火口位置(大規模)
 - 想定火口位置(中規模)
 - 想定火口位置(小規模)
 - 想定火口範囲
- 到達時間**
- 2時間で到達する可能性のある範囲
 - 3時間で到達する可能性のある範囲
 - 6時間で到達する可能性のある範囲
 - 12時間で到達する可能性のある範囲
 - 24時間で到達する可能性のある範囲
 - 7日間で到達する可能性のある範囲
 - 最終的に到達する可能性のある範囲(最大で約57日)

図 5.3-8 全規模での溶岩流ドリルマップの重ね合わせ図(左図)

(3) 溶岩流可能性マップ

溶岩流可能性マップは、大・中・小規模全てのドリルマップを重ねて、規模にかかわらず同一時間区分内に最も遠くまで到達している地点を結んだ包絡線から作成した。その際溶岩流が到達しない尾根地形や山地（笹坂峠や愛鷹山など）は可能性マップの範囲から除いた。

また包絡線の中に含まれていても周囲を溶岩流が流下する島状の地域は、a) 周囲の到達時間が24時間以内の場合そこに一次避難することは不適であると考えて可能性マップの範囲に含めて塗りつぶし、b) 逆に周囲の到達時間が24時間以上である星山・羽鮒丘陵、足和田山等は範囲から除いた。

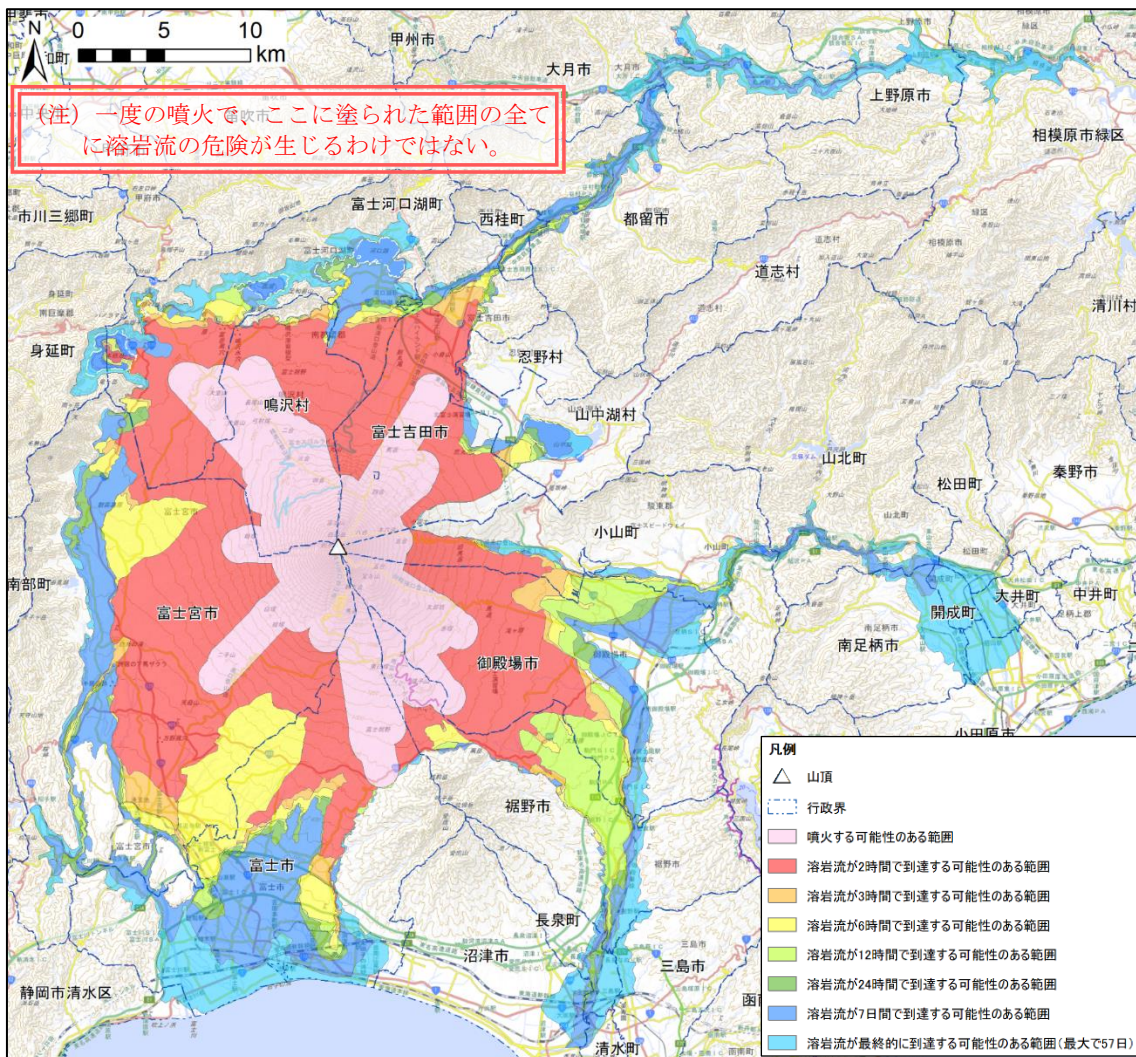
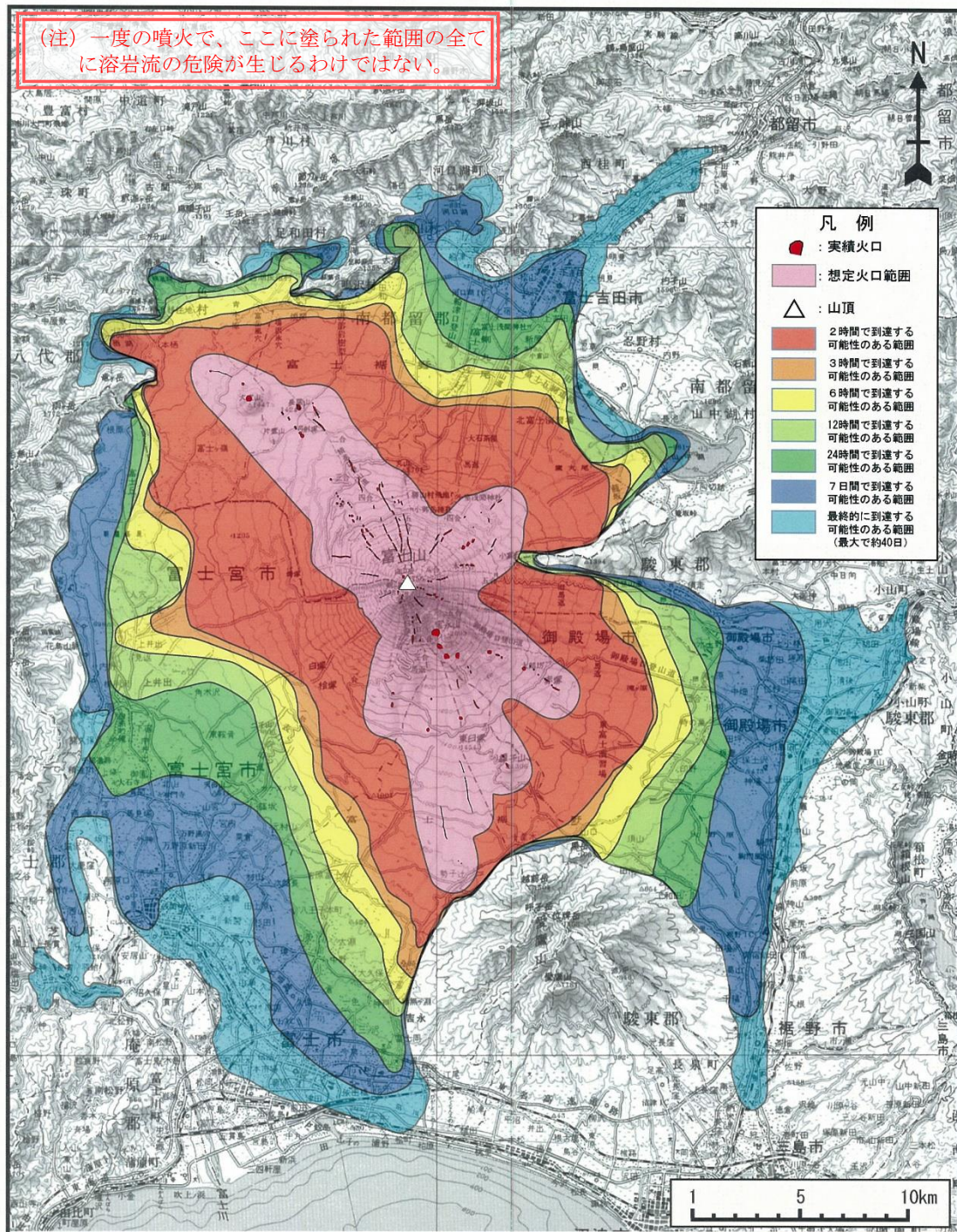


図 5.3-9 溶岩流可能性マップ

【参考】

平成16年版報告書での溶岩流可能性マップ



その他にも、市町村等の地方自治体における防災担当職員などによる該当市町村内の影響把握等を目的として、溶岩流の流下方向で区分し、市町村境界を明示した可能性マップ（到達時間による区分）を作成した。

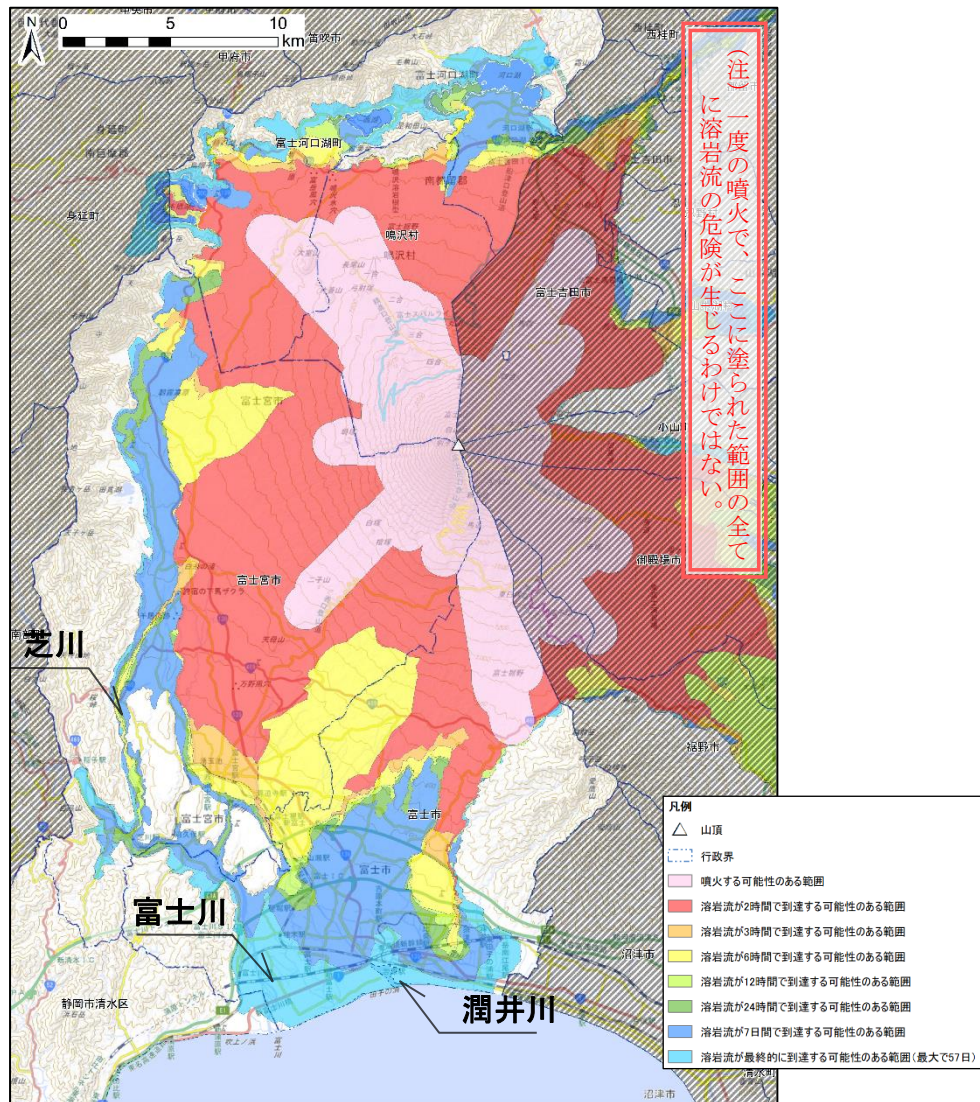


図 5.3-10 富士山西麓（芝川・潤井川・富士川方面）
富士河口湖町・鳴沢村・富士宮市・富士市・静岡市に流下した例

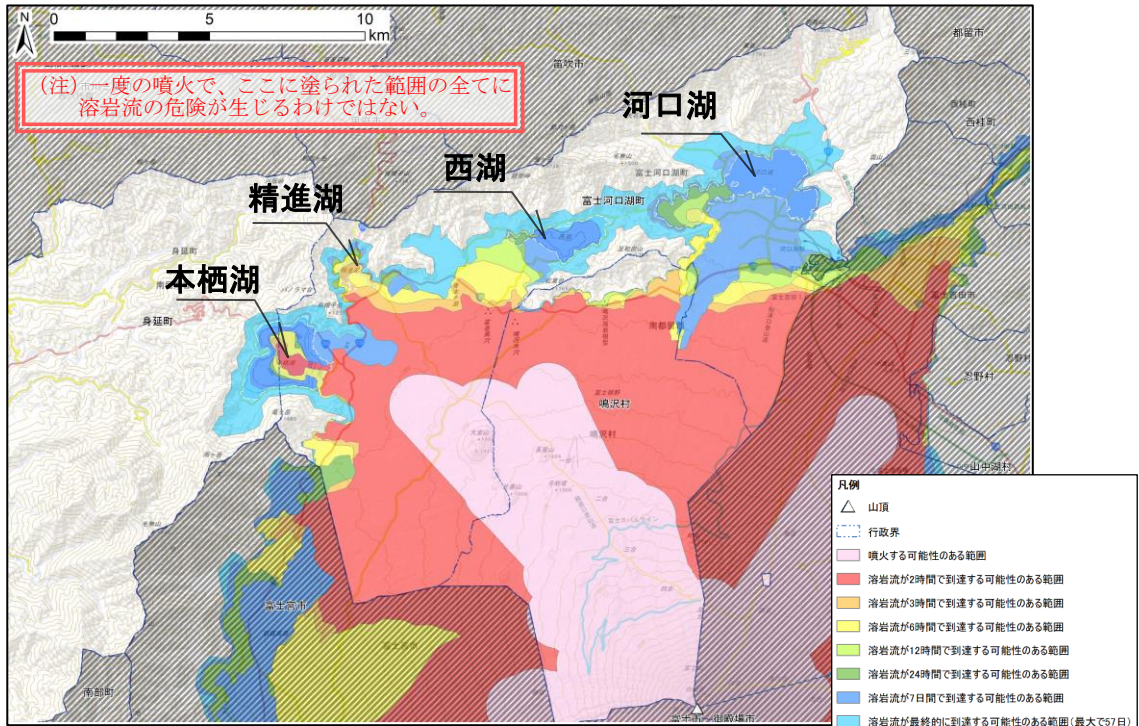


図 5.3-11 富士山北麓（本栖湖・精進湖・西湖・河口湖方面）

鳴沢村・富士河口湖・身延町に流下した例

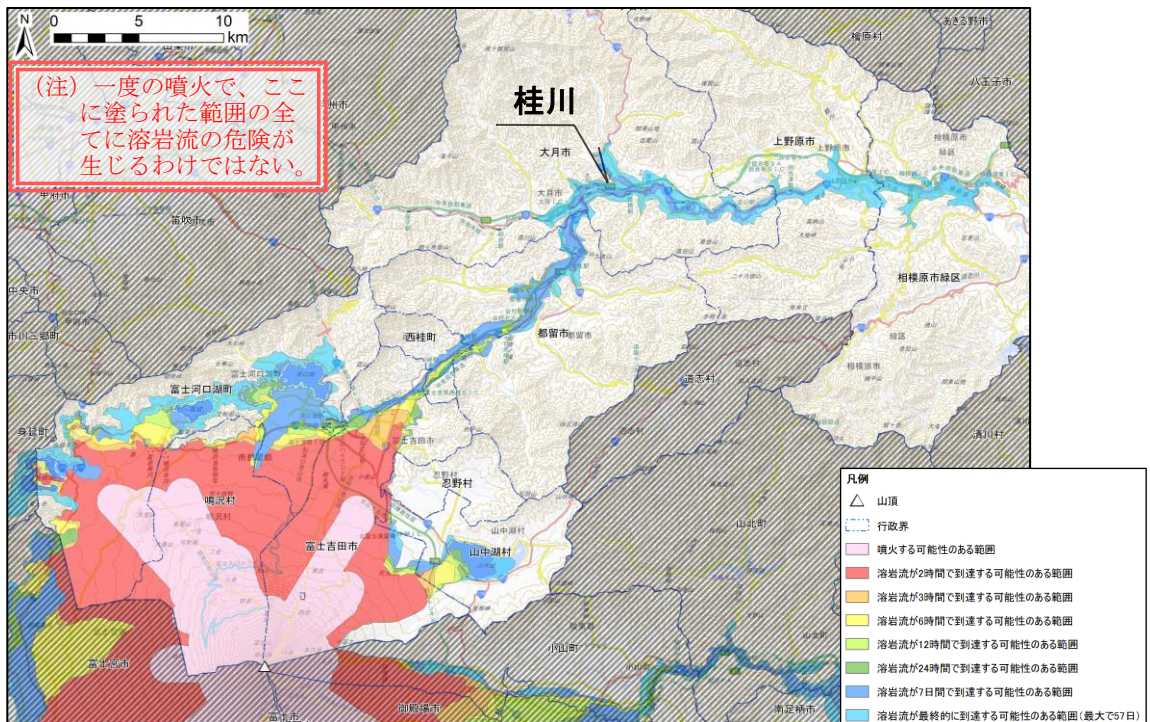


図 5.3-12 富士山北東麓（桂川方面）

富士河口湖町・鳴沢村・富士吉田市・山中湖村・忍野村・西桂町・都留市・大月市・
上野原市・相模原市に流下した例

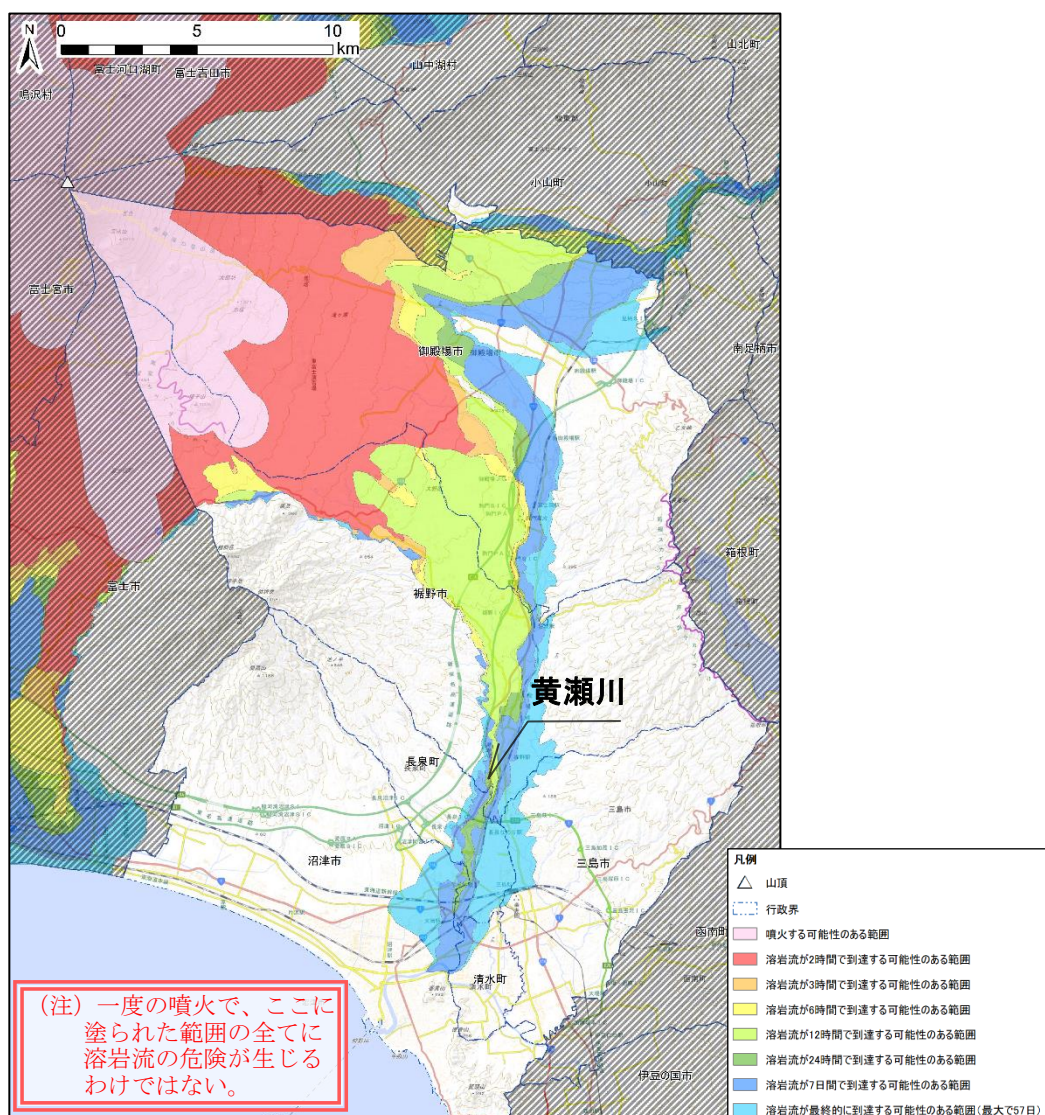
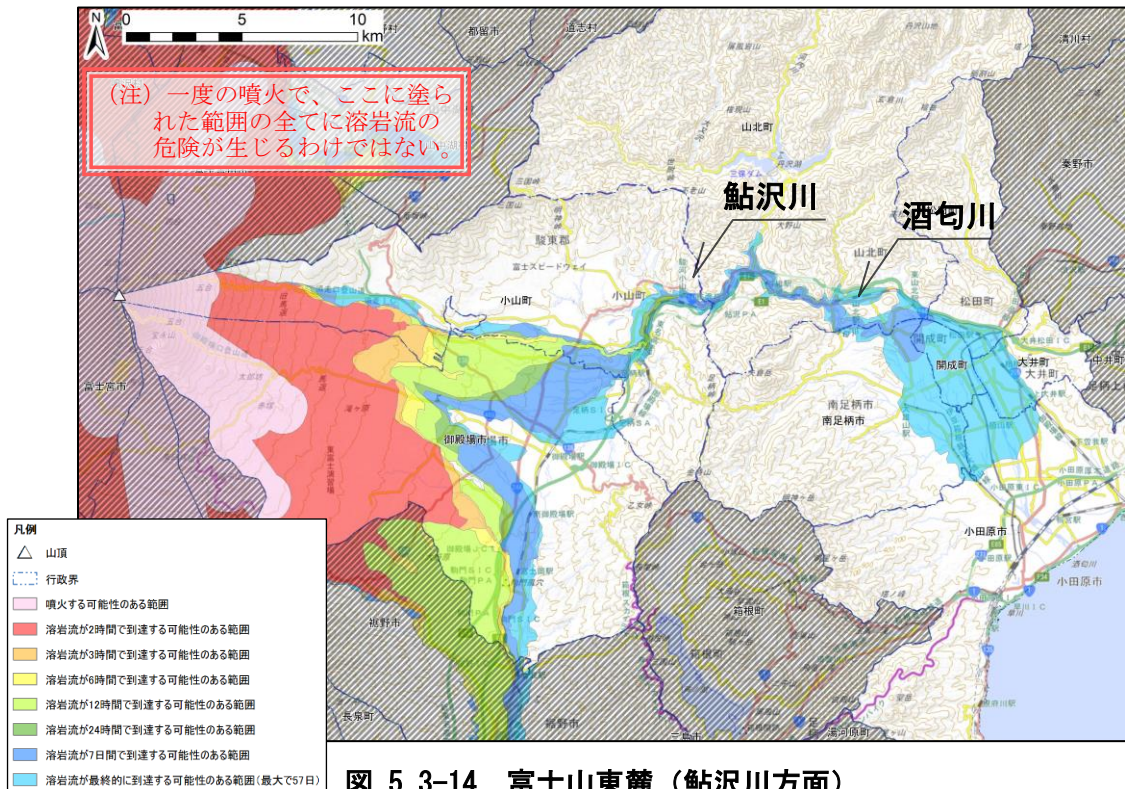
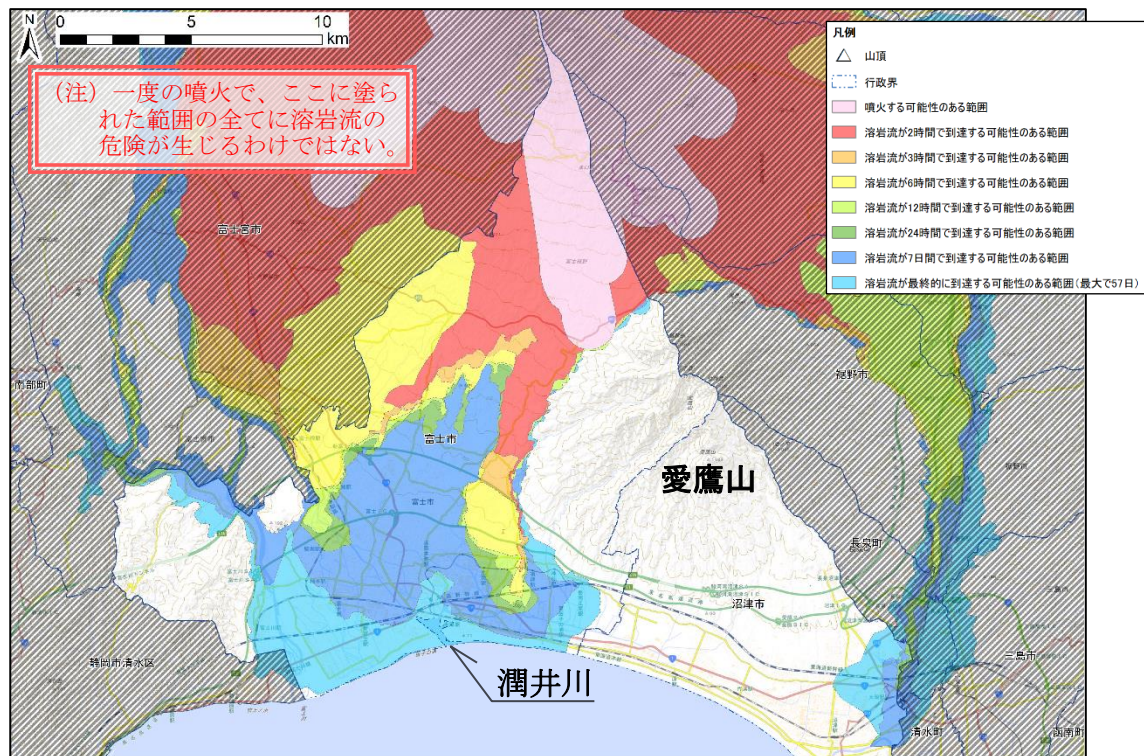


図 5.3-13 富士山南東麓（黄瀬川方面）

御殿場市・裾野市・長泉町・三島市・清水町・沼津市に流下した例



小山町・御殿場市・山北町・南足柄市・松田町・開成町・大井町・小田原市に流下した例



富士市・沼津市に流下した例

(4) 溶岩流可能性マップとドリルマップの重ね合わせ図

溶岩流のドリルマップを重ね合わせた図から、可能性マップを作成する際に、どのように地形を考慮して包絡線を引いたのか、根拠が分かるように可能性マップと全てのドリルマップを重ね合わせた図を作成した。

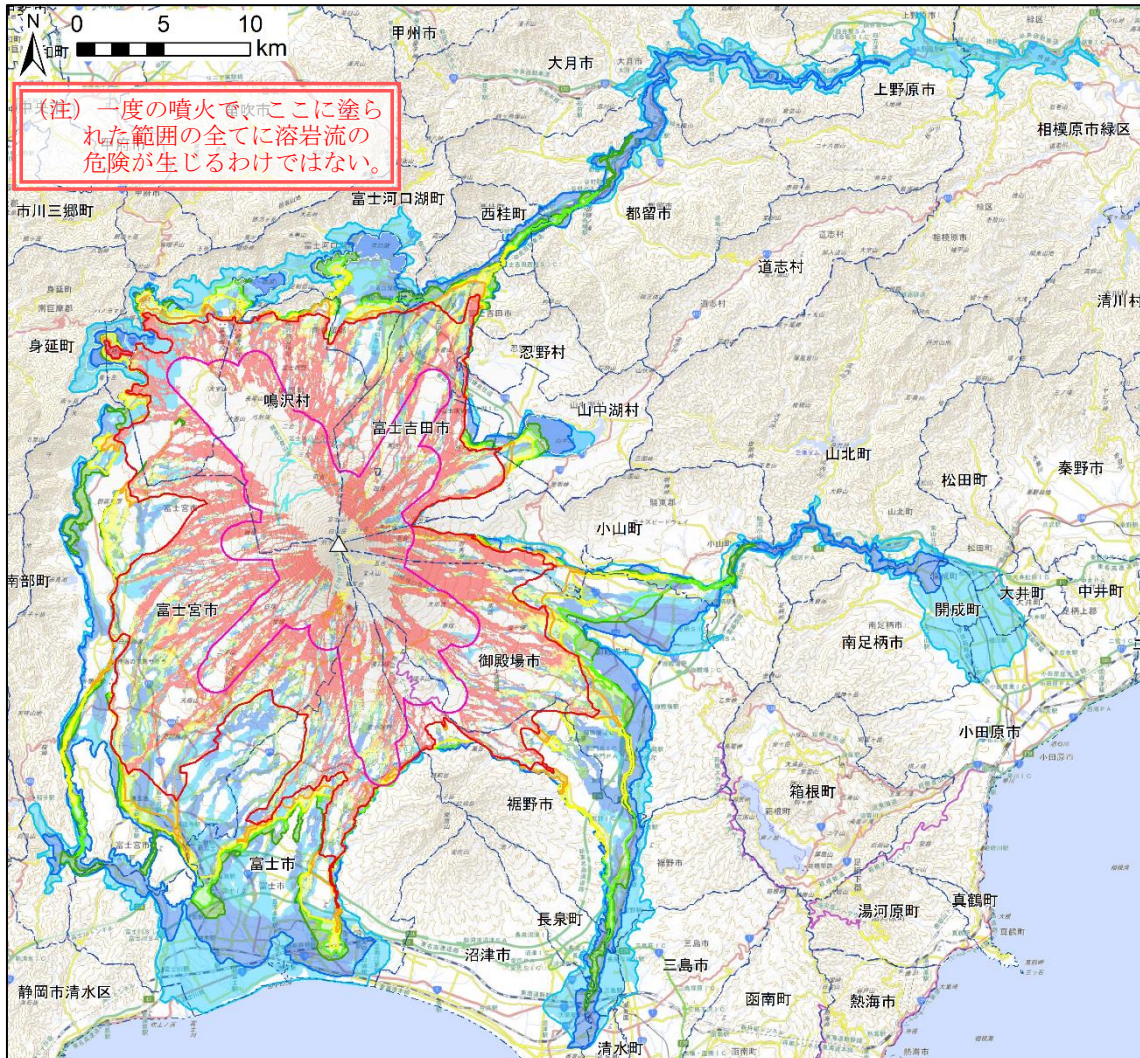


図 5.3-16 溶岩流可能性マップとドリルマップの重ね合わせ図

凡例

▲ 山頂

--- 行政界

溶岩流が2時間で到達する範囲

溶岩流が3時間で到達する範囲

溶岩流が6時間で到達する範囲

溶岩流が12時間で到達する範囲

溶岩流が24時間で到達する範囲

溶岩流が7日間で到達する範囲

溶岩流が最終的に到達する範囲(最大で57日)

噴火する可能性のある範囲

溶岩流が2時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が3時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が6時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が12時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が24時間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が7日間で到達する可能性のある範囲

溶岩流が最終的に到達する可能性のある範囲(最大で57日)